

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 横浜丸魚株式会社

コード番号 8045 URL <http://www.yokohama-maruu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岩瀬 一雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員

(氏名) 小島 雅裕

TEL 045-459-2921

四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	26,019	△4.1	△36	—	112	105.2	95	53.3
26年3月期第2四半期	27,120	△0.3	△84	—	54	—	62	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 693百万円 (353.5%) 26年3月期第2四半期 152百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	13.53	—
26年3月期第2四半期	9.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	18,626	11,869	63.7
26年3月期	17,358	11,248	64.8

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 11,866百万円 26年3月期 11,244百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	10.00	10.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,000	0.2	120	—	310	14.9	240	△22.1	33.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	7,261,706 株	26年3月期	7,261,706 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	185,887 株	26年3月期	183,601 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	7,076,096 株	26年3月期2Q	6,600,112 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策等の効果により、一部の業種で企業収益の改善がみられるなど引き続き緩やかな景気回復基調で推移し、また、雇用・所得環境の着実な改善が続くもとで、個人消費も徐々に持ち直しの動きがみられましたが、一方で原材料価格の上昇や新興国経済の成長鈍化、欧州での政情不安などの諸問題もあり、景気先行きの不透明な状況は依然として続いております。

当社グループの中核事業である水産物卸売事業におきましても、水産資源の減少や競争激化による市場外流通の増加に加えて、水産物需要の低迷も顕在化しており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、平成26年度から平成28年度まで3カ年の中期経営計画「MMプラン3rd Stage」を策定し、グループ一体となった営業推進によりグループ営業力・販売力の強化を図り、安全・安心な水産物をコアとした食品を安定して供給するグッドリレーションカンパニーを目指すべく邁進して参りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は26,019百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ1,100百万円

(△4.1%)の減収となりましたが、経費の節減等により営業損失は36百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ47百万円(前年同期 営業損失84百万円)の改善となりました。

また、経常利益は112百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ57百万円(105.2%)、四半期純利益は95百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ33百万円(53.3%)と共に増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(水産物卸売事業)

売上高は20,801百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ1,270百万円(△5.8%)の減収となりましたが、営業損失は10百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ55百万円(前年同期 営業損失66百万円)の改善となりました。

(水産物販売事業)

売上高は5,093百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ183百万円(3.7%)の増収となりましたが、営業損失は44百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ1百万円(前年同期 営業損失43百万円)の減益となりました。

(不動産等賃貸事業)

売上高は14百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ0百万円(3.7%)の増収となり、営業利益も14百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ1百万円(14.4%)の増益となりました。

(運送事業)

売上高は110百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ13百万円(△11.0%)の減収となり、営業利益も4百万円と前第2四半期連結累計期間に比べ6百万円(△57.6%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、18,626百万円と前連結会計年度末に比べ1,267百万円増加しました。この主な要因は、商品及び製品の増加348百万円及び投資有価証券の時価評価等による増加938百万円によるものであります。

負債は、6,756百万円と前連結会計年度末に比べ645百万円増加しました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加139百万円、その他の流動負債の増加176百万円及び長期繰延税金負債の増加331百万円によるものであります。

純資産は、11,869百万円と前連結会計年度末に比べ621百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金の増加24百万円及びその他有価証券評価差額金の増加597百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は2,646百万円と前連結会計年度末に比べ184百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローにおいては52百万円の支出となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益110百万円、売上債権の減少23百万円、たな卸資産の増加348百万円及び仕入債務の増加139百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローにおいては45百万円の支出となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出21百万円、投資有価証券の取得による支出11百万円及びその他の支出7百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローにおいては86百万円の支出となりました。この主な要因は、配当金の支払額70百万円及びリース債務の返済による支出14百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年5月19日に公表いたしました数値から変更はございません。なお、今回発表の1株当たり予想当期純利益の計算は、当第2四半期連結会計期間末の期中平均株式数によっております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,861	2,677
受取手形及び売掛金	3,942	3,921
有価証券	11	11
商品及び製品	1,049	1,397
その他	41	87
貸倒引当金	△483	△466
流動資産合計	7,423	7,628
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	987	960
土地	771	771
リース資産(純額)	59	87
建設仮勘定	12	12
その他(純額)	65	65
有形固定資産合計	1,895	1,897
無形固定資産		
ソフトウェア	133	257
その他	10	10
無形固定資産合計	144	267
投資その他の資産		
投資有価証券	7,802	8,741
長期貸付金	9	12
破産更生債権等	529	527
その他	68	64
貸倒引当金	△513	△513
投資その他の資産合計	7,896	8,832
固定資産合計	9,935	10,997
資産合計	17,358	18,626

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,775	2,914
未払法人税等	29	15
引当金	59	48
その他	278	455
流動負債合計	3,143	3,435
固定負債		
役員退職慰労引当金	150	—
退職給付に係る負債	691	695
資産除去債務	30	30
長期未払金	—	147
繰延税金負債	1,802	2,134
その他	292	313
固定負債合計	2,966	3,321
負債合計	6,110	6,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,541	1,541
資本剰余金	376	376
利益剰余金	6,241	6,266
自己株式	△102	△103
株主資本合計	8,058	8,082
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,186	3,783
その他の包括利益累計額合計	3,186	3,783
少数株主持分	3	3
純資産合計	11,248	11,869
負債純資産合計	17,358	18,626

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	27,120	26,019
売上原価	25,339	24,285
売上総利益	1,780	1,734
販売費及び一般管理費	1,865	1,770
営業損失(△)	△84	△36
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	99	107
その他	34	34
営業外収益合計	140	150
営業外費用		
支払利息	0	1
その他	0	0
営業外費用合計	1	1
経常利益	54	112
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	12	0
負ののれん発生益	1	—
特別利益合計	14	0
特別損失		
固定資産除却損	—	1
特別損失合計	—	1
税金等調整前四半期純利益	68	110
法人税、住民税及び事業税	4	15
法人税等調整額	1	△0
法人税等合計	5	15
少数株主損益調整前四半期純利益	63	95
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△0
四半期純利益	62	95

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	63	95
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	89	597
その他の包括利益合計	89	597
四半期包括利益	152	693
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	152	693
少数株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	68	110
減価償却費	90	84
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	30	△16
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11	△10
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	13	△150
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△102	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	4
受取利息及び受取配当金	△106	△115
支払利息	0	1
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	—
固定資産除却損	—	1
投資有価証券売却損益 (△は益)	△12	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	74	23
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△222	△348
仕入債務の増減額 (△は減少)	4	139
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△18	7
長期未払金の増減額 (△は減少)	—	147
その他	△60	1
小計	△253	△119
利息及び配当金の受取額	95	96
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△7	△28
営業活動によるキャッシュ・フロー	△165	△52
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30	—
有形固定資産の取得による支出	△25	△21
有形固定資産の売却による収入	1	—
無形固定資産の取得による支出	△102	△5
投資有価証券の取得による支出	△74	△11
投資有価証券の売却による収入	148	1
子会社株式の取得による支出	△3	—
貸付けによる支出	△1	△3
貸付金の回収による収入	14	1
その他の支出	—	△7
その他の収入	—	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△73	△45
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△65	△70
リース債務の返済による支出	△13	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△79	△86
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△318	△184
現金及び現金同等物の期首残高	3,024	2,830
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,706	2,646

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
 (継続企業の前提に関する注記)
 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)
 セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	22,071	4,910	14	124	27,120	—	27,120
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,655	109	30	59	1,855	△1,855	—
計	23,726	5,019	44	184	28,975	△1,855	27,120
セグメント利益又は損失 (△)	△66	△43	12	10	△86	2	△84

(注) 1. セグメント利益の調整額2百万円は、棚卸資産の未実現利益2百万円であります。
 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	20,801	5,093	14	110	26,019	—	26,019
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,762	81	30	58	1,933	△1,933	—
計	22,563	5,174	45	169	27,953	△1,933	26,019
セグメント利益又は損失 (△)	△10	△44	14	4	△36	0	△36

(注) 1. セグメント利益の調整額0百万円は、棚卸資産の未実現利益0百万円であります。
 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。